



2023年4月7日

各位

上場会社名 株式会社 技研製作所
 代表者 代表取締役社長 森部 慎之助
 (コード番号 6289)
 問合せ先責任者 取締役 森野 有晴
 (TEL 088-846-2933)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2022年10月12日に公表いたしました2023年8月期の通期連結業績予想および配当予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年8月期通期連結業績予想数値の修正(2022年9月1日～2023年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	32,000	5,000	5,050	3,500	127.26
今回修正予想(B)	29,000	3,200	3,250	2,000	72.72
増減額(B-A)	△3,000	△1,800	△1,800	△1,500	
増減率(%)	△9.4	△36.0	△35.6	△42.9	
(ご参考)前期実績 (2022年8月期)	30,378	4,613	4,832	3,234	117.65

修正の理由

2023年8月期通期の連結業績予想につきましては、オセアニア地域、北米・南米地域をはじめとして、海外事業において想定していた受注が見込めないことや、国内事業において鋼材価格の高騰を受けて工事案件一件あたりの工事規模が縮小傾向にあり、その影響による杭材用部品の販売減が第3四半期以降も続くことが想定されることなどから、売上高が当初計画を下回る見込みとなりました。利益につきましても、利益率の高い建設機械事業セグメントの売上減や販管費の増加を考慮し、通期業績予想を下方修正いたします。

当社グループは、飛躍的な発展を目指し、中期経営計画(2022年8月期～2024年8月期)の長期事業展望に「2031年8月期の売上高1,000億円」を掲げました。中計の中間年度に当たる当期は、達成に向けた数値目標や戦略を示した「長期ロードマップ・GIKEN GOALS 2031」を公表しました。海外売上比率7割を目指す中、ロードマップでは2031年8月期に5割を目標としており海外事業の強化に着手しております。オランダ・アムステルダム市等で市場形成が順調なヨーロッパ、アジア地域を軸に、安定して成長する海外の圧入市場構造の確立に注力してまいります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2022年10月12日発表)	—	35.00	—	35.00	70.00
今回修正予想	—	—	—	20.00	40.00
当期実績	—	20.00	—		
前期実績 (2022年8月期)	—	35.00	—	35.00	70.00

修正の理由

当社は株主の皆様に対する安定的な利益配分を最重要項目と位置付けており、収益に応じた適正な利益配分を実施するとともに、長期的な事業展開に備えた内部留保の充実を基本方針としております。

2023年8月期中間および期末配当については、前述の「2031年8月期の売上高1,000億円」に向けて、製品の電動化や自動運転等に関する研究開発、事業拡大のための設備投資に備えるため内部留保の充実を図ることとし、当第2四半期連結累計期間の業績および通期業績予想等を踏まえ、1株当たり20円に修正することといたしました。

(注)上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上